

知事コメント（4/30）

本日、新型インフルエンザのフェーズが4から5にあがりました。今の状況は、日本国内では患者発生がありませんので、一昨日（4/28）の対策本部で決めた内容に沿って確実に対応して参ります。

ただ、連休中も不安のある方は、発熱相談センターを本日より24時間対応するように充実しましたので、こちらにご相談いただき、発熱外来に受診していただくようお願いいたします。

万一、発熱した場合に受診する医療機関は4月27日には3ヶ所でしたが、7ヶ所に増え、準備が進んでいます。

今回の新型インフルエンザも通常のインフルエンザと予防方法は同じであるといわれています。

県民の皆様には正しい情報に基づき冷静な対応をお願いいたします。

日常的に手洗いとうがいをしっかりと行い、症状のあるときには咳エチケットの励行をお願いいたします。

近い将来に海外旅行へ行かれる方には、海外での予防方法や、帰国されてからの健康管理に関する資料を、明日からパスポートセンターでお渡ししますし、県のHP上にも掲載します。

豚肉は通常の調理によって食べることにより、新型インフルエンザがヒトに感染する可能性はなく、安全であると考えております。正確な情報をもとにした冷静な対応をお願いします。

ご家庭での新型インフルエンザ予防について

情報収集

海外において、新型インフルエンザが発生しております。

滋賀県では、県のホームページの防災、安全・安心情報「新型インフルエンザ対策について」にて、随時、情報を提供しております。

また、テレビや新聞においても最新の情報が提供されております。

今後の情報にご注意願います。

手洗い・手指消毒

手洗いは、手指などの身体に付着したインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法です。

手洗い

石けん液でこまめに手洗いを行いましょう。

手についたウイルスを洗い流します。

手指消毒

石けん液と流水による手洗いに加えて、手指の消毒を行いましょう。

手洗い後に行うとより効果的です。

うがい

うがいには機械的な洗浄効果や、さらにはうがい薬を用いた場合には殺菌力や化学的洗浄効果により口腔内や気道に付着した細菌やウイルスを減少させる効果が期待できます。

したがって、うがいは感染症予防に一定の効果が期待できます。

咳エチケット

咳・くしゃみをするときティッシュなどで口と鼻を押さえましょう。

使用したティッシュはフタ付きのゴミ箱に捨て、その後は手を洗いましょう

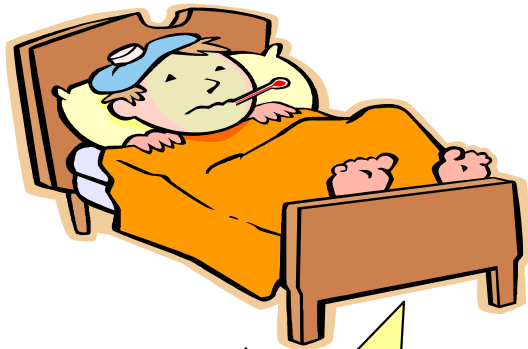
咳・くしゃみの症状がある人はマスクを使用しましょう。

新型インフルエンザ対策行動計画

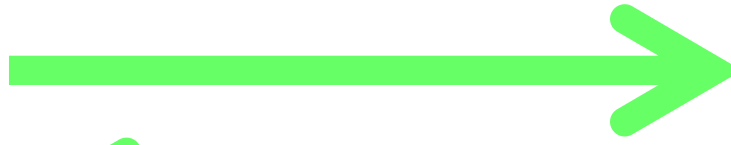
発生段階別の目標と主な対策

フェーズ	発生段階		主な対策
1	発生前期		サーベイランス体制の充実 高病原性鳥インフルエンザの監視、防疫体制の整備、ヒトへの感染把握体制の確保 感染拡大に備えた医療体制の確保 抗インフルエンザウイルス薬等の医療に必要な物資の確保
2			
3			
4～6A	海外発生期		早期発見のためのサーベイランス体制の強化 健康不安者等からの電話相談体制の構築 衛生科学センターにおける検査体制の整備
4B	国内発生期		対策本部の設置 サーベイランス体制および検査体制の強化 感染拡大を防止するため、情報提供体制・相談体制の強化 拠点病院を中心にした診療の実施と感染拡大に備えた医療体制の整備
5B	県内流行期	前期	対策本部の体制強化 流行の拡大に備えた医療体制の強化 不要不急の外出や催し物の自粛
		後期	重症患者を中心とする入院医療体制への転換 病床を含めた既存の医療資源の最大限の活用 公共交通機関、ライフラインの確保 社会不安を解消する広報活動の充実・強化
6B	【大規模流行期】		公共交通機関の運行縮小 企業等の事業活動の自粛 学校等の公共施設を臨時医療施設として活用 遺体安置所の設置等の実施
後パンデミック期	流行終息期		「終息宣言」 医療の正常化へ移行 新たな発生や流行の再燃への備え、計画の見直しと体制の改善

新型インフルエンザの心配があれば

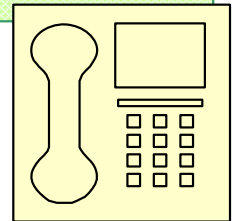


発熱相談センターに電話



発熱相談センター
県庁・保健所

県庁 077-528-4983
(24時間対応)



受診勧奨



発熱外来を受診

現在 7カ所設置

